

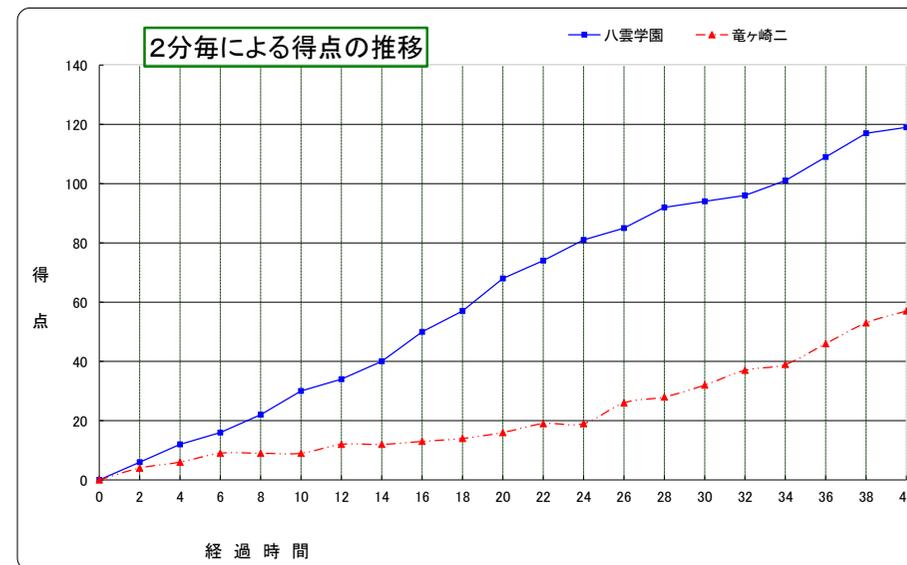
平成28年度第27回関東高等学校 バスケットボール新人大会

平成29年2月11日(土)
毎日興業アリーナ久喜
女子2回戦 D6

チームA	119	{	30	1st	9	}	57	9
八雲学園 (東京)			38	2nd	7			7
			26	3rd	16			16
			25	4th	25			25
								チームB
								県立竜ヶ崎二 (茨城)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	佐藤 陽香	21	0	0	9	12	3	4	2	2	8	5	6	1	6
5	奥山 理々嘉	36	0	2	18	23	0	0	1	8	11	4	1	4	6
6	奥野 聖	4	0	1	2	3	0	0	2	1	1	0	6	0	3
7	小村 日夏理	6	0	3	3	5	0	0	1	1	4	0	5	2	3
8	太田 咲里	31	1	3	13	19	2	3	2	6	5	2	7	2	4
9	奥脇 彩袖子	7	1	2	2	5	0	0	3	0	3	7	3	1	2
10	太田 清香	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2
11	日塔 愛美	2	0	0	1	1	0	0	3	0	1	0	1	0	2
12	宮下 茉侑	10	0	0	5	7	0	0	3	2	0	0	1	0	1
13	尾川 菜	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
14	佐々木 穂奈	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	中島 瞳	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	山中 小梅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
17	蒲 ひより	0													
18		0													
コーチ	高木 優子														
		119	2	11	54	79	5	7	19	20	34	19	32	10	31
		確率	18.2%		68.4%		71.4%			計 54					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	倉持 彩弥	9	1	2	1	14	4	6	3	1	1	1	1	0	8
5	根本 箆子	0	0	1	0	4	0	0	0	0	3	2	2	0	3
6	小川 未来	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7	小泉 雛	17	2	6	3	6	5	6	1	0	0	2	0	0	1
8	飯島 天寧	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9	酒井 真新	0	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
10	市川 水晶	2	0	3	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
11	板垣哉也子	18	0	0	6	18	6	8	1	1	2	6	0	1	7
12	長谷川未佳	2	0	0	0	0	2	2	3	0	1	4	2	0	2
13	横堀早佑理	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	0	1
14	関根 楓	4	0	3	0	2	4	4	1	0	0	2	0	0	5
15	久保田萌香	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
16	田中 若菜	0													
17	八田 千裕	3	0	0	1	2	1	2	4	1	0	1	0	0	0
18	石上 夏樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
コーチ	宮田 宗典														
		57	3	17	12	52	24	30	16	3	7	19	5	1	30
		確率	17.6%		23.1%		80.0%			計 10					



戦評

第1P 八雲学園はハーフコートマンツーマン、対する竜ヶ崎二はオールコートマンツーマンでゲーム開始。序盤、八雲学園は高さをいかして#5のゴール下で得点したり、#4や#8がレイアップで得点したりするなど着実に得点する。竜ヶ崎二は、ボールマンにプレッシャーをかけてボールを獲得しようとするが、冷静にパスを回されてしまいなかなか得点できない。#4の個人技で得点するものの、八雲学園の高さに対応できず難しいシュートになってしまう。八雲学園は、ペイント周辺のシュートだけでなく、素早い速攻やオフェンスリバウンドを確実に奪って得点するなど、30対9とでリードし第1P終了。

第2P 竜ヶ崎二は#11を中心に反撃を試みるが、八雲学園のディフェンスの前になかなか得点を伸ばすことができない。八雲学園は、激しいディフェンスに対して素早くパスを回し、#5の連続ポイントで点差を広げていく。中盤以降、竜ヶ崎二はオフェンスリバウンドを頑張り、何度もシュートを試みるが決めることができない。八雲学園は、#4#8などが着実に得点を重ね更に突き放していく。竜ヶ崎二も、ディフェンスの勢いを止めずにプレーするものの、68-16と八雲学園がリードを広げて第2P終了。

第3P 点差を縮めたい竜ヶ崎二は前半同様に、ディフェンスの勢いを止めず、ボールマンにプレッシャーをかけたスチールに成功し、#7を中心に得点を重ねる。リバウンドも高さに対して人数で対抗し、積極的に参加し、てファールを誘うことに成功する。しかし、八雲学園も#4のアシストから#5のゴール下や#8の個人技で内外から確実に得点する。#7の負傷退場があったがオフェンスのリズムは変わらず、バランスよく得点していき94-32でリードを保ったまま第3P終了。

第4P 序盤、竜ヶ崎二は厳しいディフェンスから八雲学園のターンオーバーを誘い、#7や#11で得点していく。リバウンドやルーズボールにも積極的に参加してボールを獲得して得点するが、八雲学園はメンバーを入れ替える余裕を見せ119-57で試合終了。最後までゴール下を制した八雲学園が3回戦進出を決めた。

記入者 塩川優太

Ref	星野 由貴	1st U	駒村 匡昭	2nd U	
-----	-------	-------	-------	-------	--